

Topics

3月18日（金）名東高校体育館において、第22回MAJ（Meito Art Jam/名東高校文化部総合発表会）が行われました。

舞台上でのステージ発表とフロアでの展示発表に、7つの文化部が参加しました。

【舞台発表】能楽研究部・放送部・ダンス部・合唱部・コンピュータ部



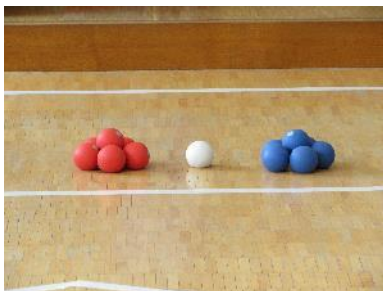
【展示発表】ハンドメイド部・美術部・コンピュータ部



【アナウンス】放送部

今年も校外の会場で観客を入れる公開行事としての開催とはいきませんでした。感染症対策に十分配慮した上で今年度もMAJを実施することができました。

3月15日（火）～17日（木）の日程でスプリングフェアが行われました。



競技種目・内容を検討し、感染症対策を行った上で実施しました。

男子 サッカー（雨天時は卓球）・バスケットボール・ドッジボール
女子 ドッジビー（雨天時は卓球）・バスケットボール・バレーボール
混合 ボッチャ

で行われました。

結果は・・・1年生は準優勝1C 優勝1E
2年生は準優勝2D・2F 優勝2Aでした！

3月16日(水)名東高校の国際教育センターと語学学習センターにおいて、1・2年生を対象として「名東高×名市大 特別企画『名市大の学生と語ろう!』」を行い、名市大を志望している生徒27名が参加しました。名市大側からは、人文社会学部、経済学部、芸術工学部、生命総合理学部、薬学部の5学部の学生が来校しました。

学校長あいさつののち、全体会として各学部の紹介を行いました。その後、学部ごとに分かれて交流会を行いました。終了後のアンケートには「名市大の方が大学を楽しんでいる様子が伝わってきて、少し大学受験勉強が楽しみになりました」「名市大に行きたいと思ってから抱いていたモヤモヤをここで聞くことができ、より行きたい!!と思いました」と記され、意欲が高まったようです。また、名市大の学生も「高校生のみなさんとお話しできて初心を思い出しました」という感想を寄せてくださり、お互いにとって有意義な時間を過ごすことができたようです。進路部では、来年度も同様の企画を行うことができると考えています。



全体会



総合生命理学部の説明(元名東生)



交流会(人文社会学部)



交流会(総合生命理学部・薬学部)

3月14日（月）2年国際英語科の生徒に対して、現在名古屋市立大学大学院芸術工学研究科・博士後期課程で研究を行っているピエトロ・ヴェッキさんより「中世ヨーロッパ建築に見る調和性～世界の中の人間」と題して特別授業を行いました。2年生では世界史を学んでいることもあり、授業でも触れる中世ヨーロッパ建築と日本の建築の比較や、ヨーロッパにおける建築の理念について話していただきました。ワールドスタディーズや異文化セミナーなど、日頃よりさまざまなテーマで講演会を受けている2Lの生徒にとって、ヨーロッパの建築様式だけでなく街づくりなど、興味深い授業となりました。



3月14日（月）2年生の総合的な探究の一環として名古屋地方検察庁より出前授業を行い、各クラスへZoomを使用したオンライン形式で講演を行いました。講演では、まず検察庁の業務についてお話しいただき、検察庁そのものだけでなく事件の発生から逮捕・起訴を経て裁判、刑の執行に至る過程について教えていただきました。そして、今年の4月から施行される成年年齢の引き下げにともない、少年法改正の背景や少年法そのものについて解説していただき、「成年」としての心構えについて話していただきました。



3月11日（金）関西学院大学教授の村尾信尚さんをお招きし、ワールドスタディーズの一環として2年国際英語科の生徒に講演を行いました。「私のチャレンジ」と題した講演では、岐阜県高山市に生まれた学生時代のお話にはじまり、大蔵省（現財務省）などの官庁や三重県庁での仕事、そしてニュースキャスターとして活躍されていた経験を交え、ウクライナ情勢などのさまざまな問題について物事の見方を一方向にとらわれないことや、高校生としての社会への関わり方、そして失敗を恐れずに挑戦することの大切さについてお話していただきました。

講演の後は、先日名古屋市子ども青少年局への「高校生による名古屋市への政策提言授業」を行った生徒たちの発表を見ていただき、生徒からの質問にもひとつひとつ丁寧に答えていただきました。



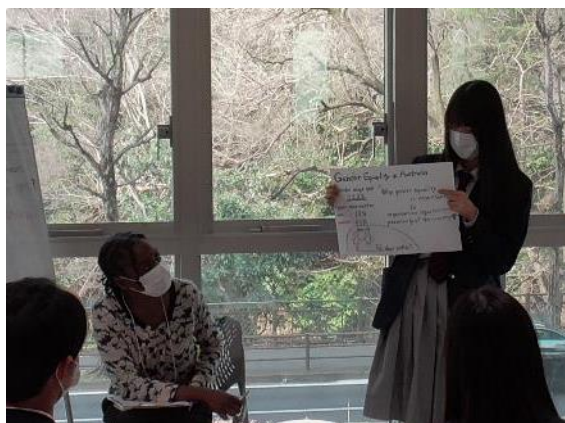
12月17日（金）・3月11日（金）の二日間、1年国際英語科の生徒が名古屋市教育館にあるグローバルエデュケーションセンター（GLEC）でのグローバルワークショップに参加しました。ワークショップでは少人数のグループに分かれ、各グループにネイティブの先生が1人ずつつき指導を受けます。一日目は「環境」、二日目は「男女平等」をテーマとして、午前中はテーマを題材にしたリスニング、教育用のゲームであるKahootを利用したクイズ、Webによるゲストとのインタビューなどを行った後に、午後に行われるプレゼンテーションのための調査やポスターの作製に入りました。そして午後はテーマに即したプレゼンテーションを全員が行い、グループ内での質疑応答やネイティブの先生からのフィードバックを受けました。二日間という短い期間でしたが、生徒たちは終日英語で過ごすという貴重な体験を通じて、今後の英語学習に対する大きな刺激を受けたようでした。



グループに分かれて学習



プレゼンテーション



2日目のテーマは「男女平等」



集合写真

3月4日（木）薬物乱用防止教室が行われました。講演は、名古屋ダルクより講師の方をお招きし、各クラスへZoomを使用したオンライン形式で行いました。講演では、薬物の怖さとともに人間関係の大切さなどについてお話していただきました。

3月4日 9:00~10:00頃 薬物乱用防止講話

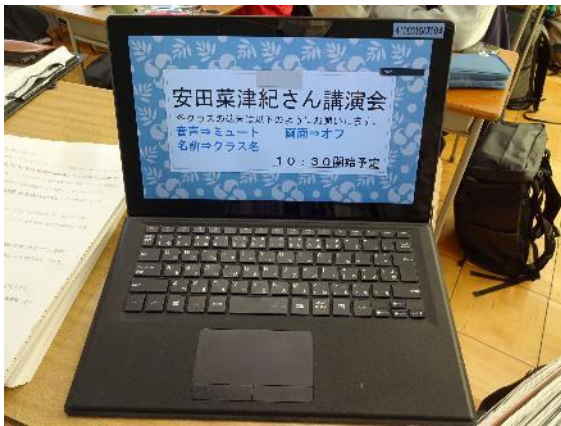
- 名前はクラス名でお願いします
- 身だしなみ、姿勢を整えよう！



3月3日（木）E S D講演会が行われました。フォトジャーナリストとしてさまざまな場で活躍されている安田菜津紀さんに、「世界の子どもたちと向き合って 紛争、災害の現場から」～持続可能な世界のために～と題して講演を行っていただきました。講演は、各クラスへZ o o mを使用したオンライン形式で行いました。

講演では、ウクライナ情勢や人権問題をはじめ、安田さんが訪れたカンボジアやシリアなどの紛争の現場や、東日本大震災の被災地である陸前高田でのお話をしていただきました。また、講演会には1・2年生だけでなく先日卒業した3年生も任意で参加し、講演後には生徒より出された質問にも丁寧に答えていただきました。

講演会を通じ、知ることだけではなく伝えていくことの大切さなど、わたしたちを取り巻く様々な問題に対してどう向かい合っていくのかを学びました。



3月2日（水）本校LS（人生応援サポーター）の小野瀬竜也さんによる企画「名東サロン」の一環として「インテリアデザイナーとの座談会」を行い、本校進路室のリニューアルを担当する（株）ROJAKの山本敦さんと木村穂菜美さん、織田昇吾さん（大学生）の3名からお話をうかがいました。本校からは、建築やデザインに興味のある2年生6名の生徒が参加しました。座談会では、インテリアデザイナーをめざした理由や仕事のやりがいと苦労などのお話を聞き、「実際に働いている方からお話をきけてすごく良い経験になった」とさらに意欲が高まったようでした。



人生応援サポーター 勉強会企画

インテリアデザイナーとの座談会

インテリア・デザイン・建築・芸術など興味ある人、ようまっせー！

2022年度名東校舎リニューアル工事完了！
 建築・インテリアのデザインを担当してくださった株式会社ROJAKさんです。
 スタッフ（山本敦さん・木村穂菜美さん・織田昇吾さん）の3名（男性1名・女性2名）・インターン先で活躍する大学生1名との座談会を開催しました。

3.2[wed]
 13:30～14:15
 @北4展開教室

＝予約方法＝
 まずは進路室へ！
 進路室に予約表を用意します。
 詳しくはLS小野瀬まで

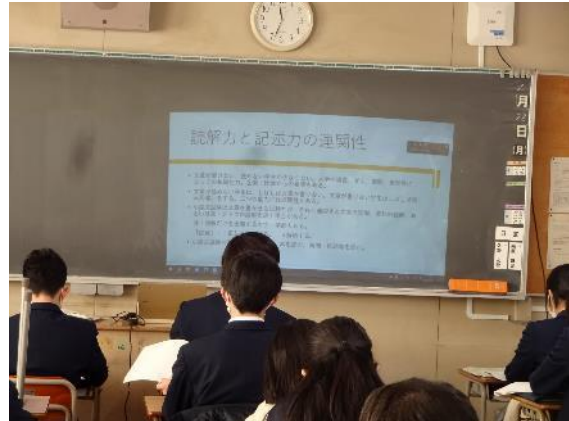
こんな機会をもらったにないです！いろいろ聞いてみましょう！

ROJAK Inc. コイモリデザイン事務所

3月1日（火）に卒業式が行われ、第36回生366名が名東高校を巣立ちました。卒業生の皆さんの益々のご活躍を、教職員一同祈念しております。また、このような状況にもかかわらず卒業式を行うことができました。保護者の皆様のご理解とご協力に、厚く感謝申し上げます。



2月28日（月）2年生を対象に、名古屋市立大学の吉田一彦特任教授による「小論文講座」を開催しました。吉田先生からは、大学入試で小論文試験を出題・採点された経験からどのような小論文を書いたらよいかという視点でお話いただきました。小論文を書く力は、大学入試においてはもちろん、大学における学びにおいても重要であるとお話いただき、受験を意識するよい機会となりました。



2月8日（火）国際英語科2年生の3名が、「持続可能な未来への対話セッション2022」（名古屋国際高校主催）に参加し、名古屋国際高校、奈良県立国際高校の高校生とZoomでの交流を行いました。

参加した3校の高校生は、自己紹介と学校紹介を行った後に「Z世代が考える国際性」というテーマで意見交流を行いました。交流では、「言語習得だけでなく、言語を活かして諸問題について学び、解決策を考え、行動を起こす」という意見が大半で、各学校におけるSDGsへ取り組みが生徒の言葉からも伺えました。約1時間のセッションでしたが、生徒たちには時間が足りない様子で、今後もこのような交流がしたいという意見が大半でした。

なお、このセッションの様子は、2月12日（土）に名古屋国際高校により「ニューノーマル時代の中高等教育のあり方」というテーマで実施された発表会での分散会「国内の学校との対話」で紹介されました。

2月8日（火）国際英語科1年生が異文化セミナーを行いました。国際協力機構（JICA）中部より職員の江口由希子さんとインターンの山田修士さんを講演者とし、「国際協力」をテーマに講演会を行いました。講演では、江口さんからは政府開発援助（ODA）の仕組みと国際支援のあり方について説明をしていただきました。かつて日本の戦後復興には国際社会からの支援が重要な役割を果たしており、現在日本はそのお返しとして海外への支援活動を行っているとのわかりました。また、山田さんから海外での稲作を通しての国際協力実践について、ドミニカ共和国での青年海外協力隊員の経験や日本での取り組み、今後の海外における研究についてのお話がありました。発表後の質疑応答では、JICAの具体的な支援の仕組みや山田さんのドミニカでの生活についてなど多くの質問があり、積極的に話を聴く姿が見られました。



2月5日(土)第37回名東高校スピーチコンテスト(MEITO SR.HIGH SCHOOL'S 37th ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST)を本校体育館にて、感染症対策に十分配慮した上で実施しました。

この行事は、日常の授業で身に着けた英語運用能力を活かし、学習成果をスピーチという形で発表する本校独自の行事です。普通科・国際英語科問わず全校生徒に募集を行い、校内オーディションを経たのちにコンテストへと臨みます。選出された出場者は、スピーチ・暗唱の各部門で日頃の学習の成果を発揮すべく練習に取り組んできました。スピーチコンテスト当日は、外部から5名(大学から3名、名古屋ユネスコ協会から2名)の審査員をお招きして、各部門の優秀者を選考するとともに、5つのグループによる発表も行いました。レシテーション(暗唱)部門10名とSDGsをテーマにしたスピーチ部門9名より、各部門の1位~3位とユネスコ協会会長賞が選考された後、審査員からご講評や今後に向けてのアドバイスをいただきました。審査員の方も選ぶのが非常に難しかったとコメントされていた通り、どの発表もレベルが非常に高く、本校での学習の成果が十分に発揮された素晴らしい発表になりました。



各部門の結果は以下の通りです。

レシテーションの部(3分以内の自由選択による英文の暗唱)

1位 1 L 下野まとい "Be not Defeated by the Rain"

2位 1 F 荒川真衣子 "Actions are Better than Words"

3位 1 L 佐藤 麗香 "We All are Perfectly Imperfect"

スピーチの部(SDGsに関する自作による5分以内の原稿のスピーチ)

1位 2 L 両角 優衣 "Small Acts of Kindness Create a World of Change"

2位 2 L 中垣 姫花 "Reduce the Cost of Terminal Disease Treatment to Zero"

3位 2 L ナット珊瑚 "Treat Them Better"

ユネスコ協会会長賞

2 L 島田 怜奈 "Normality"

その他に、国際英語科1年・2年の生徒による英語グループパフォーマンスを行いました。

※受賞者のコメントは国際英語科のページで見ることができます。

1月31日（月）には2年生、2月4日（金）には1年生を対象に、名古屋市立大学より本校に来ていただいている吉田一彦特任教授から「大学の学びと研究」というテーマで講演をしていただきました。まず、大学の学部・学科やカリキュラムについて説明していただき、大学での学びや研究に必要な力、高校との違いについて、また大学で得た力を将来どのように活かしていくかなどについて話していただきました。さらに講演の最後には吉田先生自身の研究についてもお話しいただき、これから進路を選択する生徒にとって有意義な講演となりました。



1月25日（火）国際英語科2年・1年を対象とした異文化セミナーにおいて、名古屋難民支援室のコーディネーターである羽田野真帆さんより難民支援についての講演をオンラインで行いました。講演では難民の定義から始まり、日本における難民認定者の数の少なさ、申請の複雑さ、難民への長期的な支援が求められていることなどを学びました。講演後は質疑応答が活発になされ、生徒はテーマについて理解を深めました。最後に羽田野さんより「多様な人々を受け入れることで、その社会はより豊かになる」と示唆に富んだ言葉をいただき、講演は終了しました。

「ニュースやメディアで受けとる難民の情報は偏りがあるけれど、リアリティのあるお話が聴けて良かったです。NPOという立場で政府とは異なった見解や事実が知れて有意義な時間でした。素敵な講演をありがとうございました！」（2年生）

「難民という存在は知っているつもりだったが、今回の話を聴いて知らないことがほとんどだった。なかでも日本の難民認定率の低さにとても驚いた。多くの人が難民の人たちに対して理解を深めていく必要がある。この先、国の難民制度が整って、難民の人たちが安定して自立した生活が送れるようになったらいいと思う」（1年生）



難民について

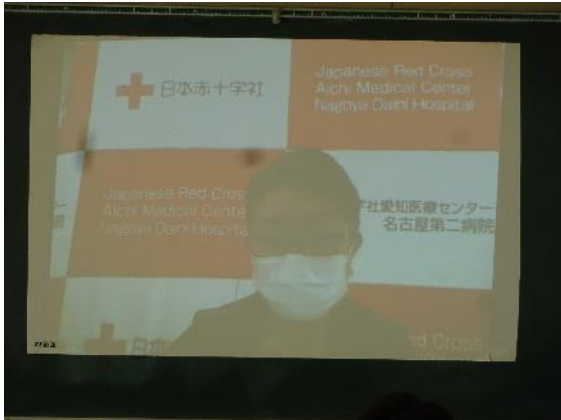


質疑応答

1月21日（金）一年生を対象に、2回目のESDセミナーが行われました。

名古屋第二赤十字病院の国際医療救援部で活動されており、また本校の卒業生でもある関塚美穂さんに、『平和』についてお話をいただきました。講演は、勤務されている病院から1年生の各クラスに対して、Zoomを使用したオンライン形式で行いました。

講演では、新型コロナウイルス感染症の現状についての説明があり、さらにレバノンで従事した難民への救援活動など、関塚さんご自身の救援活動の経験をもとに、様々なお話をいただきました。



1月21日（金）国際英語科1年「ワールド・スタディーズ」の授業において、通訳の全香仙（チャン・ヒャンソン）さんより「韓国の文化・言語」について講演がありました。太極旗、チマ・チヨゴリ、韓国料理などの文化と歴史について興味深い話を聴き、日本と韓国の文化の違いについて学びました。後半は、ハングルの読み方レッスンやハングル会話の練習を行い、全員が韓国語で自己紹介するなど楽しく韓国文化を体感する有意義な時間を過ごしました。



1月19日（水）、3年生を対象に名古屋市立大学の吉田一彦特任教授による「小論文講座」を開催し、20名の生徒が参加しました。吉田先生からは、大学入試で小論文試験を出題・採点された経験からどのような小論文を書いたらよいかという視点で、1時間お話ししていただきました。共通テストを終え、国公立大学の入試を控えた生徒たちは、真剣な表情で吉田先生のお話に耳を傾け、「出題者がどんな学生が欲しくて小論文を出題しているのかを知ることができて良い機会でした」「大学でレポートを書くのにつなげていきたい」などの感想が寄せられ、有意義な学びの時間となりました。



12月24日（金）神戸市で開催されたワールド・ワイド・ラーニング課題研究交流会に、国際英語科3年生と2年生がZ o o mで参加し、それぞれ発表を行いました。

「ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム特別支援事業」(WWL)とは、将来世界で活躍できるイノベティブでグローバルな人材を育成するため、文部科学省の推進のもと、テーマを通じた高校生国際会議の開催などにより高校生へ高度な学びを提供する取り組みです。今年度、国際英語科2年修学旅行の際に交流を深め、お世話になった神戸市立葺合高校がWWL拠点校に指定されている関係で、WWL課題研究交流会に名東高校も参加しました。

交流会では、葺合高校による発表を皮切りに、各グループに分かれて発表を行いました。3年生は「人権+ビジネス」の分野でジェンダー観の変遷について、2年生は「環境・防災」の分野で修学旅行を通じて学んだ災害における備えについて発表を行いました。その後、グループディスカッションで他校の生徒との交流を深め、各グループごとの報告を行い、交流会を終了しました。交流会では、拠点校の葺合高校をはじめ14校が参加しており、発表やディスカッションを通じて、同世代による視点から現代の課題について考えるよい機会となりました。



12月20日(月)2年国際英語科の生徒たちが先日行った名古屋市モデル事業「高校生からの名古屋市への政策提言」を、同じ2年普通科の生徒たちに発表しました。

国際英語科の生徒たちは、それぞれのグループで研究テーマを設定し、NPO法人への取材やオンラインインタビュー、アンケートの実施などによる調査・研究活動を行ってきました。普通科の生徒も先日、修学旅行において調査・研究・発表といった活動を行いました。ワールドスタディーズを通じて日頃よりこのような活動を行っている国際英語科の生徒たちの発表を見て、この後に行う個人レポートの作成に向けてよいお手本となりました。また、国際英語科の生徒たちにとっても、同じ学校の生徒たちへの発表はよい刺激となりました。



12月15日(水)、16日(木)に国際英語科2年生が2日間にわたり、名古屋市教育館内にあるGLEC(グローバルエデュケーションセンター)において英語でディスカッションスキルを身につける研修に参加しました。

1日目は「難民」をテーマとして、基礎知識・ボキャブラリーを学んだ後で、テーマに関するリスニング活動やアメリカ人ネイティブスピーカーとのオンラインインタビューを行いました。午後からは、難民の仮想受け入れ国をグループごとに設定し、発表活動を行いました。

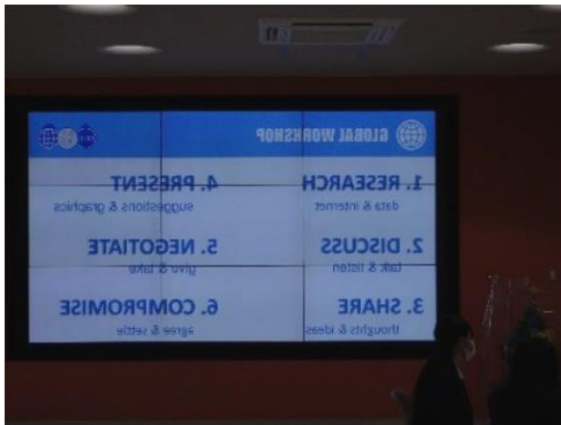
2日目は、難民の受け入れを各国でどのような割合で配分するかを交渉する活動を通して、世界の諸問題についての理解を深めるとともに、高度なコミュニケーションスキルを使って実践練習を行いました。



テーマについて確認



オンラインインタビュー



ディスカッションの流れ



グループワーク (ポスター作成)



個人でのリサーチ



12月13日(火)1・2年生を対象に「名古屋市立大学入試説明会」を国教センターにおいて開催しました。60名を超える名市大志望の生徒が参加し、人文社会学部の吉田一彦特任教授、薬学部長の松永民秀教授、総合生命理学部の櫻井宣彦准教授から、学部の概要や入試のしくみなどをお話していただきました。

終了後のアンケートには、

「名古屋市立大学の入試において共通テストがとても重要であることが分かりました。受験に向けて頑張ろうと思っていたタイミングなので、すごく良い機会になりました」

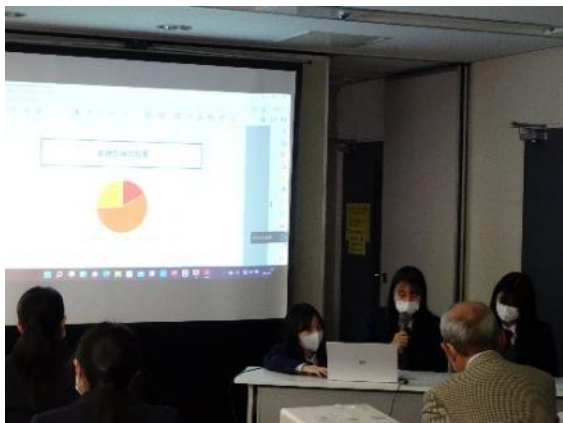
「今年はオープンキャンパスに行くこともできず、詳しい説明について映像を見たり、調べたりするぐらいしかできなかったのですが、実際の先生方の話を聞くことができとても良かったです」など記され、名市大に行きたいという意欲が高まったようです。

また、進路部では3学期に「名市大の学生と語る」という企画を準備しているところです。



12月11日(土)名古屋国際センターでSDGsパスポート体験発表会(名古屋ユネスコ協会主催)が行われ、ユネスコスクール5校が各校での取り組みを発表しました。

本校からは国際英語科2年生3名が参加し、「災害への物の備えと心の備え」というテーマで活動発表を行いました。11月下旬に修学旅行で訪問した神戸・淡路島での防災学習の学び、防災アンケートの実施と分析結果、学校の避難訓練のあり方に関する発表でした。各校からの活動発表後は、青年海外協力隊員の方によるヨルダンでの支援活動について講演を聴き(第2部)、さらにワークショップ(第3部)では参加者がグループに分かれSDGsについて話し合いました。感染症対策で参加人数に制限はありましたが、他校の生徒と直接顔を合わせて意見交換ができる有意義な機会になりました。



防災に関する発表



ワークショップ

12月10日（金）名古屋市役所より総務局企画部企画課の5名の方をお招きし、2年国際英語科生徒が「高校生による名古屋市への政策提言授業」を行いました。

今年度、名東高校2年国際英語科では、高校生が地域のまちづくりに対して意見を述べたり、提案したりできる機会を作ることを目的として、名古屋市子ども青少年局が主催する「高校生社会参画アクションモデル事業」を実施しています。SDGsを学ぶ本校独自の教科であるワールドスタディーズの一環としてファシリテーターの土肥さんをお招きし、生徒は社会問題の根本的な原因は何かを探る活動を行ってきました。

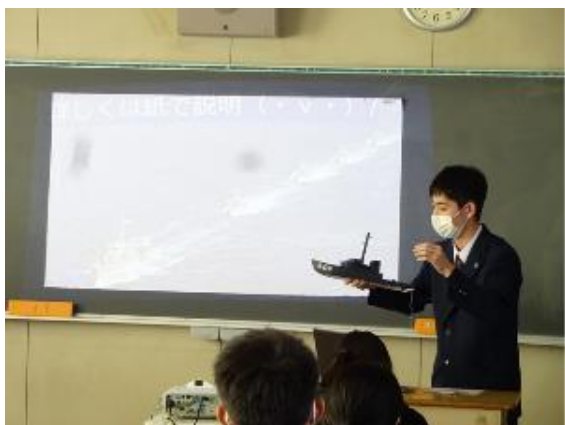
そして今回は、一年間のゼミ活動で学んだことをもとに「プラスチックごみ」「フェアトレード」から「LGBTQ」「見えない犯罪」など、15のグループがそれぞれ名古屋市に対して提言を行いました。



12月10日（金）2年普通科修学旅行報告会

4限HR時に、普通科2年生が1年生各クラスにおいて修学旅行の報告会を行いました。

二日目のESD班別研修や一日目の平和学習など、それぞれ学んだ体験を下級生に発表しました。



11月26日（金）・29日（月）国際英語科2年生および1年生が、名古屋市と「観光分野におけるパートナー都市協定」を結んでいる台湾・台中市の豊原高級中学校のみなさんによりZ o o mを使用した交流会を行いました。

交流会では、それぞれの代表生徒によるあいさつからそれぞれ豊原高校の生徒とグループディスカッションを行い、同年代の会話に盛りあがっていました。予定していた時間もあっという間に終わり、最後はそれぞれの代表生徒によるあいさつで交流会を終えました。豊原高校のみなさん、ありがとうございました。



11月26日（金）一年生を対象に、ESDセミナーが行われました。

ライオン株式会社サステナビリティ推進部より許斐圭佑さんを講師にお迎えし、Zoomによる講演を行いました。講演では、衣料・住居洗剤や歯磨き商品でおなじみのライオンが、脱炭素社会や資源循環型社会の実現を目指して取り組んでいる「Lion Eco Challenge 2050」について、お話をいただきました。講演では、ライオンが取り組んでいる社会活動とともに、普段の生活ですることができるSDGsアクションなどが紹介され、最後には歯ブラシをリサイクルして作られた定規をいただきました。



11月22日(月)～11月24日(水)の2泊3日の日程で、毎日の健康チェックやマスク着用などの感染症対策を行いながら、国際英語科2年生が神戸・淡路島への修学旅行を行いました。

11月24日(水)3日目 防災研修・震災体験学習

3日目は、最初に人と防災未来センターで研修を行いました。震災追体験のフロア、防災・減災体験フロアなど興味をひきつける映像・音響や展示で、災害に対する正しい知識を身につけることができました。また、震災体験者の方から直接話を聴くことができました。その後、阪神大震災時に火災被害のひどかった長田地区へ移動し、ふたば学舎(旧二葉小学校)で震災体験学習を行いました。震災時の避難所での生活体験をして、生徒は防災に対する意識が高まりました。

人と防災未来センター



センター館内



液状化現象について



ふたば学舎内



炊き出し体験



避難所体験



BE KOBE 前にて



11月22日（月）～11月24日（水）の2泊3日の日程で、毎日の健康チェックやマスク着用などの感染症対策を行いながら、国際英語科2年生が神戸・淡路島への修学旅行を行いました。

11月23日（火）2日目 淡路島

2日目は淡路島で、北淡震災記念公園を見学し、うずしおクルーズで鳴門海峡の渦潮を見ました。クルーズ船から間近に見える渦潮の迫力に、生徒は驚嘆していました。

震災記念館館長より講話



野島断層



地震体験



鳴門海峡を背景に



渦潮



クルーズ船上で



11月22日（月）～11月24日（水）の2泊3日の日程で、毎日の健康チェックやマスク着用などの感染症対策を行いながら、国際英語科2年生が神戸・淡路島への修学旅行を行いました。

11月22日（月）1日目 神戸市内班別研修

名古屋から新幹線に乗車して新神戸駅に到着しました。さっそく新神戸駅から北野異人館、南京町、ハーバーランド、王子公園、ポートアイランド、有馬方面等へ向かい班別研修を行いました。昼過ぎまではあいにくの雨でしたが、午後からは雨も上がり、「国際都市神戸」を肌で感じることができました。

名古屋駅集合



南京町



北野異人館



11月19日（金）税の意義と役割について、自らの考えを応募する「税に関する高校生の作文」において全国1,563校から178,807編（名古屋国税局管内143校17,211編）の作文が寄せられ、この中から1G荒尾由依さんの作文『私を守ってくれたあの日の光』が優秀賞に選出され、表彰されました。



11月18日（木）NHKのニュース情報番組「まるっと！」に、能楽研究部が出演しました。放送では、地域の高校生を取りあげる「わかまる中継」において『本格的に「能」を学ぶ！高校生の挑戦』と題して能の紹介や部活動の様子、そして演能会や県大会で披露する「岩舟」の実演が中継されました。

なお、放送終了後より7日間「NHK+」にて見逃し配信を行っていますので、当日の放送を視聴することができます。



11月17日(水)名古屋市立大学の吉田一彦特任教授による「連続歴史学ゼミ」がはじまりました。初回のテーマは「疫病と日本史-絵画と木簡から考える-」で、在校生や教職員10名余が参加しました。新型コロナウイルス感染拡大にともなって、歴史学でも感染症に関する研究が進んでいます。講義では、過去の疫病が古代の人びとの生存をいかに脅かしてきたのか、そしてかれらが疫病をどうとらえていたのか、最新の研究成果を交えながら1時間ほど話していただき、有意義な学びの時間となりました。

なお、「連続歴史学ゼミ」は2月上旬まで、全12回(特別講座も含む)にわたり行う予定です。





連続歴史学ゼミ

2021.11/17(水)~2022.2/9(水)

講師 吉田 一彦 先生 (名市大特任教授)



講演内容 16時~17時 北棟4階展開教室にて

11月17日(水) 疫病と日本史 木簡と疫病から考える	11月24日(水) 小浜の疫病と疫病史研究 絵巻図	12月13日(月) 特別座談会「疫病と歴史」 [名古屋市立大学記念館]
12月16日(水) 疫病と疫病史研究「疫病と歴史」 特別座談会「2021 日本と世界 の疫病史」	12月20日(月) 「疫病と歴史」特別座談会	12月22日(水) 特別座談会 [名古屋市立大学]
1月12日(水) 日本の疫病史研究 特別座談会「疫病と歴史」	1月19日(水) 疫病と疫病史研究「疫病と歴史」 特別座談会	1月26日(水) 15世紀の疫病史研究 [名古屋市立大学]
2月2日(水) 特別座談会「疫病と歴史」 特別座談会「疫病と歴史」	2月7日(月) 特別座談会「疫病と歴史」 特別座談会「疫病と歴史」	2月9日(水) 特別座談会「疫病と歴史」 特別座談会「疫病と歴史」

申込み 10月29日(金)から2021年11月17日(水)まで、
特別座談会参加費は別途必要です。詳しくは、名古屋市立大学歴史学ゼミ事務局までお問い合わせください。

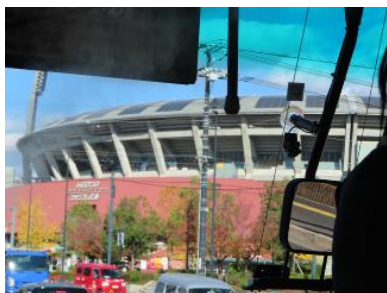
11月11日（木）～11月13日（土）の2泊3日の日程で、毎日の健康チェックやマスク着用などの感染症対策を行いながら、普通科2年生が広島への修学旅行を行いました。

11月13日（土）3日目 クラス別研修

3日目は宮島に向かい、厳島神社に参拝した後に自由行動となります。



天気にも恵まれ、三日目も終了しました。
研修後は広島駅に移動し、新幹線で名古屋へ帰ります。



11月11日(木)～11月13日(土)の2泊3日の日程で、毎日の健康チェックやマスク着用などの感染症対策を行いながら、普通科2年生が広島への修学旅行を行いました。

11月12日(金)2日目 班別研修

2日目は各班に分かれて班別研修を行います。

E S Dのテーマに沿って立てた計画書をもとに、午前と午後の研修地に向かいます。

午前研修地

ピースクリエイター講座



放射線影響研究所



広島市立大学平和研究所



宮島水族館



さとうみ科学館



海上自衛隊第1術科学校



J I C A 中国



ジャパンマリンユナイテッド



岩 国

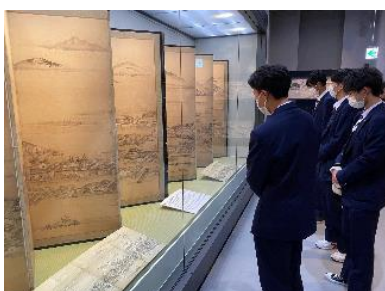


午後研修地

おりづるタワー



広島城



ひろしま美術館



他にも広島市内各所・呉・宮島・岩国などに行きました。

二日目も終了し、明日はクラス別研修です。

11月11日（木）～11月13日（土）の2泊3日の日程で、毎日の健康チェックやマスク着用などの感染症対策を行いながら、普通科2年生が広島への修学旅行を行いました。

11月11日（水）1日目 平和学習

名古屋を出発し、新幹線に乗車して広島に到着しました。

広島に到着後は2班に分かれ、平和記念公園・平和記念資料館の見学と平和講話を行いました。

平和記念公園では、代表者が原爆供養塔で献花・献水・黙祷を捧げ、ボランティアガイドによる被爆建物巡りを行い、リニューアルした平和記念資料館を見学しました。



平和講話では、アステールプラザで「被爆を語り継ぐ会」より栗本勝子さんをお迎えし、戦時中の体験や原爆投下時の広島についての貴重なお話をいただきました。



一日目が終了し、明日は班別研修です。

2年国際英語科 「ワールド・スタディーズ」授業報告

11月12日(金)5・6限に、2年国際英語科の生徒が、学校設定教科「ワールドスタディーズ」で今年度取り組んできたゼミ活動の最終報告会を行いました。今回の発表では、1年国際英語科の生徒が観客として参加しました。全部で15組の発表を2つに分け、2教室で発表を行いました。発表テーマは「プラスチックごみ」「フェアトレード」から「LGBTQ」「見えない犯罪」までさまざま、参加者は発表者の話を熱心に聴き、質疑応答も活発に行われました。なお、2年生は12月10日(金)に、名古屋市役所職員のみなさんに対し、名古屋市の市政に関して高校生として提言する機会をいただいています。

1年生の感想

「どれだけ難しそうなお題でも、私たちにできることは必ずあるし、一人一人が心がければ解決することができるお題もたくさんあることを今日の発表を聴いていて思いました」

「当たり前だと思われていることや世間の常識を疑うことから、新たな考えが得られるとわかった。2年生の発表を聴いて、常に何か問いを立てて課題に取り組む姿勢が大事だということを実感した」

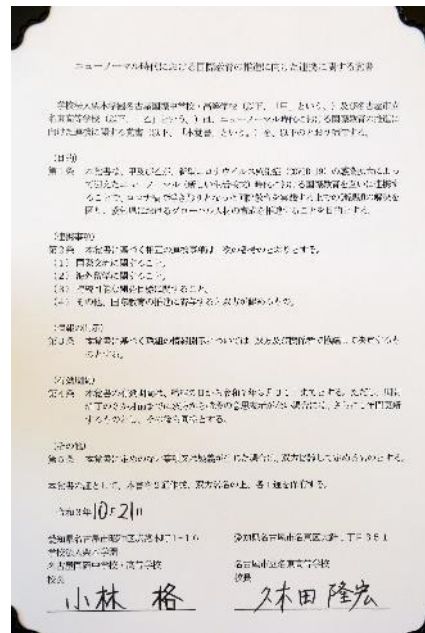


11月6日（土）中日新聞朝刊に名東高校の記事が掲載されました。

名東高校と名古屋国際高等学校・中学校との間で「ニューノーマル時代における国際教育の推進に向けた連携に関する覚書」が締結され、その調印式が10月21日（木）に名古屋国際高等学校・中学校において行われました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、思うように国際理解教育が実施できない現状で、「国際交流」「海外留学」「持続可能な開発目標（SDGs）」など両校が共通して取り組んでいる教育活動について、連携していくことが決まりました。

調印式では、両校の校長が連携の覚書に署名を行い、今後の連携内容について話し、まずは生徒の相互交流から始め、徐々に教員研修などへ深めていくことで合意しました。両校が目指す「グローバル人材の育成」に向けて、生徒同士の交流を活発に行い、生徒の意識・意欲がさらに高まることを期待します。

なお、この様子は11月6日（土）付の中日新聞朝刊で紹介されました。



11月6日（土）付中日新聞朝刊16面「市民版」
（許諾番号 20211109-26852）

覚書を締結した小林校長
と久木田校長、昭和田
の名古屋国際中高で

◇国際教育で連携 名古屋国際中学・高校（昭和田区）と名東高校（名東区）が、国際教育の推進に向けて連携することになり、覚書を締結した。

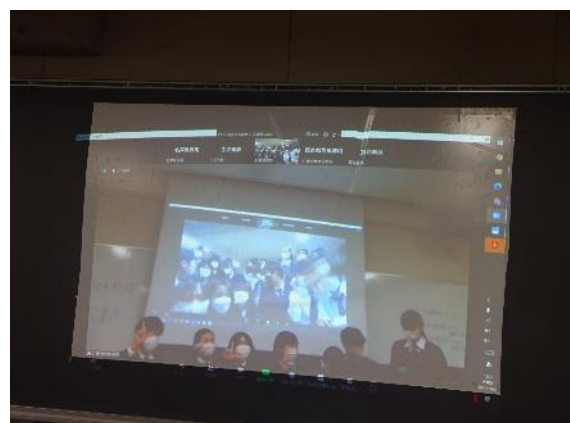
課外活動で、外国語や国際問題に関心のある生徒同士が一緒に学んだり、互いの成果を紹介したりする。教員の交流や授業での連携にも広げる。

名古屋国際中高であった調印式では、小林格校長は「本校のポリシーは世界を担う国際人の育成で、名東高校と共通する。多種多様な学びを提供したい」とあいさつ。名東高の久木田隆宏校長は「生徒に活躍の場を与える連携を大切にしていきたい」と話した。

11月3日(水)名古屋市立大学主催による「NCUサステナビリティ・シンポジウム2021」に国際英語科2年生の生徒7名が参加しました。このシンポジウムは、地域とSDGsをテーマに高校生と大学生が日頃の学びを活かして研究・学習成果を報告し、協働ワークショップを通して提言をつくり発表するものです。今回は「防災×SDGs～いま私たちが備えることとは～」と題して行われ、修学旅行で神戸を訪れる2Lの生徒たちにより、防災に関する発表を行いました。それぞれの発表後はブレイクアウトルームを利用したグループワークと報告を行い、審査の結果、名東高校は奨励賞(防災部門)を受賞しました。今回のシンポジウムは、名古屋市立大学や名古屋市立の高校だけでなく小学生も参加して行われ、様々な視点から防災を考えるよい機会となりました。



11月2日(火)修学旅行で神戸を訪れる国際英語科2年生と、神戸市立葦合(ふきあい)高校の普通科および国際科のみなさんにより、Zoomを使用した交流会を行いました。2Lの生徒からは、事前に葦合高校にお願いしていた防災に関するアンケートの分析結果を発表し、葦合高校のみなさんからは神戸の見所などを紹介していただきました。生徒同士による交流会は神戸と名古屋の映像をあわせた記念撮影で終わり、終始和気あいあいとした交流会となりました。葦合高校のみなさん、ありがとうございました。



11月2日（火）国際英語科1年生が異文化セミナーを行いました。日本フェアトレードフォーラム理事の原田さとみさんを講演者とし、「フェアトレードとエシカルファッション」をテーマにオンラインで講演会を行いました。講演では、フェアトレードの仕組みやエシカルファッションの概念の他にも、これまで名古屋で行ってきたフェアトレード運動についてのお話を聞くことができました。

10月下旬に行われた文化祭において、国際英語科1年生はリサイクルファッションをテーマに発表をしており、また授業においてもフェアトレードコーヒーやチョコレート、バナナなどについて調べ学習をしていたため、原田さんのお話は今後の学びにつながるヒントがたくさん得られるものとなりました。



10月29日（金）2年生を対象として、進路講演会を行いました。「志望校合格への第一歩」と題して河合塾中部営業部より奥田雄大さんをお招きし、各教室でZoomによる講演を行いました。講演では、受験に向けて日々の学習に対する心構えをはじめ、センター試験と大学入学共通テストとの違い、国公立大学と私立大学との比較、模試の活用方法などを話していただきました。学校祭も終わり、来年度の教科登録を終え、いよいよ本格的に受験を意識しはじめる2年生にとって、大変興味深いお話を聞くことができました。奥田さん、ありがとうございました。



10月27日(水)・28日(木) 第37回名東祭が行われました。

今年度は感染症対策のため、保護者およびゲストの招待を中止し、期間を延期したうえで2日間校内発表の形で行いました。



「THE MEITOLYMPICS」をテーマに、校内各所で教室発表・模擬店発表・体育館発表・特別発表や部活動・有志の発表が行われました。

日程 10月26日(火) 一日準備
27日(水) オープニング・校内発表・中夜祭
28日(木) 校内発表・エンディング・結果発表

結果

クラス旗部門	優勝：3 H	2位：2 H	3位：1 B
HR発表部門			
教室発表	優勝：3 L	「密です。The Final ~あなたはいくら?~」	
	2位：2 E	「Once upon a time in 2 E」	
	3位：1 B	「人生ゲーム」	
模擬店発表	優勝：3 G	「boo!」	
体育館発表	優勝：3 D	「はたらけ細胞」	
校長特別賞	3 H (体育館発表)	「帝一の國」	

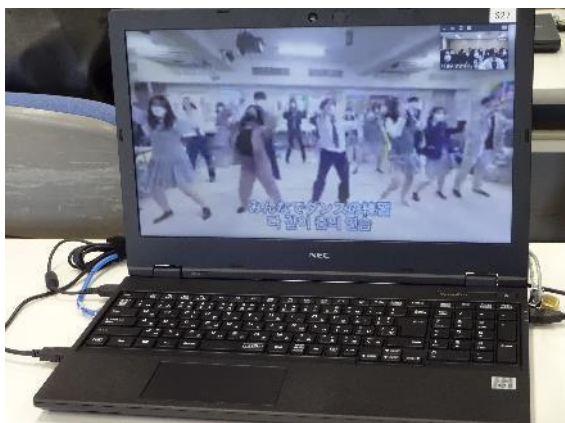
10月28日(木)名東祭の一環として、姉妹校である韓国・城南外国語学校と国際英語科の生徒によるZoom交流会を行いました。まず名東高校の紹介を行い、SDGsに沿った名東祭クラス発表の様子を、1L・2L・3Lの順に紹介しました。本校生徒の発表や、城南外国語学校の生徒の質問が日本語・ハングル・英語で行われ、新型コロナウイルス感染症により直接の交流ができないなか、実りある交流会となりました。



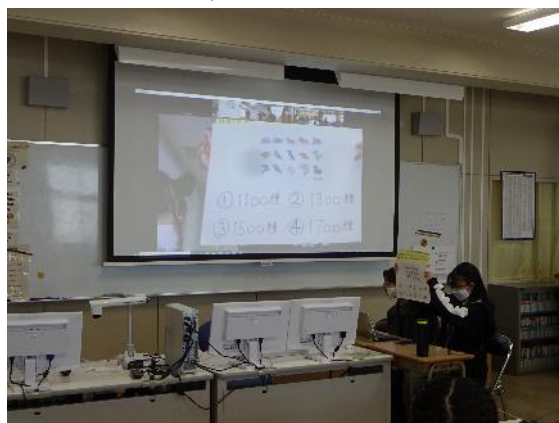
Zoomで韓国と繋がります。



城南外国語学校のみなさん



学校祭の発表を紹介します。



クイズを交えての発表。

10月15日(金)・18日(月)、人生応援サポーターの小野瀬竜也さんを講師としてお迎えし、推薦入試などを控えた3年生を対象に「面接マナー講座」を行いました。小野瀬さんからは、入試の面接に向けて心構えや所作、面接の想定問答などを話していただきました。簡単なペアワークを交えての講座であったので、3年生もたのしく面接マナーを学ぶことができ、自信をもって面接に向かうことができそうです。また、小野瀬さんには個別の面接練習・指導もしていただいています。



10月11日(月)・12日(火)それぞれ1・2年生の保護者を対象とした教科登録および進路説明会を行った後、ナゴヤ子ども人生応援サポーター事業総括管理者の深谷潤一さんをお招きし、PTA主催の進学講演会を行いました。「保護者の新常識！after コロナの進路選択サポート実践ワーク」と題し、簡単なワークショップを交えながら子どもの進路選択や、子どもと一緒に考えるキャリア・デザインについてさまざまなお話をいただきました。また、今春より赴任されている人生応援サポーターの小野瀬竜也さんから、本校における事業内容などについてお話をいただきました。深谷さん、小野瀬さん、ありがとうございました。



9月24日(金)1年生を対象に、進路講演会を行いました。対面とオンラインのハイブリッド型授業を行っている中、株式会社マイナビより蛭川万里子さんを講師にお迎えし、「進路選択の「その先」を考える～1年生の今考えてほしいこと～」と題して配信による講演を行いました。今回の講演では、大学の選択だけでなく、学部や学科を選択する際に、社会や仕事と結びつけて考えることの必要性をお話していただき、今後の科目選択について考えるきっかけとなりました。蛭川さん、ありがとうございました。



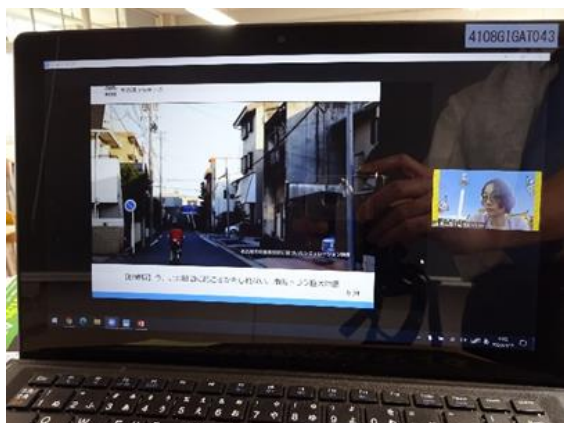
オンライン授業の生徒も視聴しました。

9月17日（金）2年国際英語科の生徒を対象に、名古屋市港防災センターの大場玲子さんから「高校生と防災」というテーマで講演をしていただきました。

まず、名古屋市が将来直面する可能性が高い「南海トラフ巨大地震」について、歴史や被害予想を含めて話がありました。また、「マグニチュードと震度の違い」「公助・共助・自助」についての説明とともに、公助として名古屋市が取り組む防災対策について解説がありました。

オンラインと分散登校の併用中での開催となりZ o o mでの講演となりましたが、生徒は大場さんのはっきりとわかりやすい説明を聴き、熱心にメモをとっていました。修学旅行で訪問する神戸・淡路島の事前学習を兼ねており、災害をリアルなものとして感じ、防災のために高校生に何ができるかを考えるきっかけとなりました。

キーワード：「行動のパッケージ化」
「正常性バイアス」
「高校生は支援の実行部隊」



南海トラフ地震はいつ？

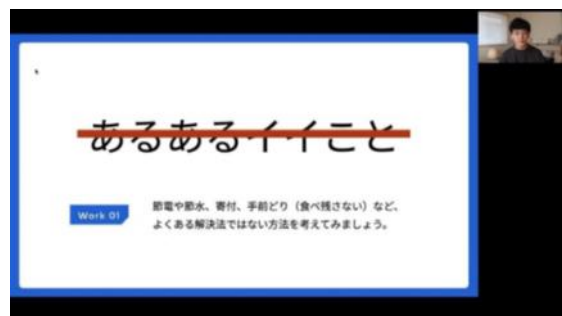


プロジェクターで黒板に投影

9月15日（水）2年生の総合的な探究の時間に「キャリア講演会」を行いました。対面とオンラインのハイブリッド型授業を行っている中、入江遥斗さん（横浜国立大学都市科学部都市社会共生学科2年生、Design,more.代表）を講師にお迎えし、Z o o mによる講演を行いました。入江さんは、高校1年生の生物の授業でS D G sを知ったのをきっかけにプロジェクトを立ち上げ、S D G s周知のための動画制作や、「S D G sのジブンゴト化」をテーマにした中学校でのオンライン授業などをされています。

今回の講演では、現在の活動を行うに至る経緯や今のお考えを伺うだけでなく、ふたつのワークを行っていただき、生徒たちも自分のアイデアをワークシートに書き込みました。

2年生のこの時期に、同世代の入江さんの講演を伺うことで、自分の進路や社会とのつながりを考えるよい機会となったと思います。入江さん、ありがとうございました。



オンライン授業の生徒もZ o o mで参加

7月14日(水)・15日(木)に、名市大との人事交流で本校に来ていただいている名古屋市立大学特任教授の吉田一彦先生による特別講義「名東高校×名市大 歴史学夏季集中講義」が行われましたが、この様子が7月16日(金)の中日新聞朝刊および7月20日(火)の毎日新聞朝刊で紹介されました。

名東高生 真剣に「名古屋学」

名市大特任教授が歴史学講義



吉田特任教授の説明に聞き入る生徒ら一名東区の名東高で

名東高校(名東区)で十四、十五の両日、名古屋市立大(瑞穂区)から同校へ派遣されている吉田一彦特任教授(日本古代中世史)の「歴史学夏季集中講義」があり、受講を希望した生徒や保護者らが名古屋の歴史などについて学んだ。

市教委と名市大は人事交流に関する協定を結んで本年度、名東など市立高と同大にそれぞれ教員を派遣し合っている。吉田特任教授は暗記科目とみられがちな社会科学の授業を担当し、史料を読み解いて考察する歴史学の魅力を生徒たちに伝えている。

初日のテーマは「名古屋学入門」。吉田特任教授は「名古屋と江戸(東京)は、徳川家康が城下町としてつくった人工都市」と前置き。その上でともに戦中に空襲で大きな被害を受けた点を踏まえ「共通の歴史を持つ、兄弟のような町」と類似性を指摘した。自身が研究する「日本書紀」に記述のある熱田神宮の歴史などにも言及した。

日本史が好きで参加した

7月16日(金) 付中日新聞朝刊12面
「市民版」(許諾番号 20210716-26392)

名古屋の歴史学ぶ

名市大教授 名東高で公開授業

高大接続推進のため、名古屋市長官立名東高(日本古代史)による「名古屋学入門」をテーマにした公開授業が

という国際英語科一年の小川鈴奈さん(モ)は「名古屋と東京の歴史が似ていることが分かり、興味深かった」と熱心にメモを取っていた。(小松原康平)

あった。

14日に同高で行われ、生徒有志や保護者、教職員計約40人が参加した。吉田特任教授は、江戸時代に名古屋城と共に名古屋の城下町が発展した様子や、名古屋大空襲で焼けた名古屋城の特徴などを話した。熱田神宮にも触れ「元は『熱田社』と言われ、日本書紀にも登場する。明治に入ってから『熱田神宮』に名前が変わった」などと



紹介した。

授業を受けた1年、皆光里桜さんは「初めて知る名古屋の歴史を学べて面白かった。歴史は苦手だったが、学ぶのが楽しくなった」と話した。

吉田特任教授は週3日同高で勤務し、歴史学などの特別授業をしているほか生徒の進路相談に乗っている。名市大と市は、4月から

市立高校と名市大で互いに教員を1年間派遣し合う人事交流を始めている。

【川瀬慎一朗】

7月20日(火) 付毎日新聞朝刊23面「愛知版」
(毎日新聞社許諾済み)

7月14日（水）・15日（木）授業後、参加を希望する生徒とPTA委員のみなさんを対象にして、名市大との人事交流で本校に来ていただいている名古屋市立大学特任教授の吉田一彦先生による特別講義「名東高校×名市大 歴史学夏季集中講義」が行われました。

7月14日の第1回講義では、「名古屋学入門」として城下町名古屋の成立から名古屋城や本丸御殿の焼失と復元、そして熱田神宮の成り立ちについてお話をいただきました。翌日の第2回講義では、「聖徳太子と聖徳太子信仰－最近の聖徳太子研究の進展をふまえて－」として、史料や文献における“聖徳太子”の実像や、研究史の流れについてお話をいただきました。

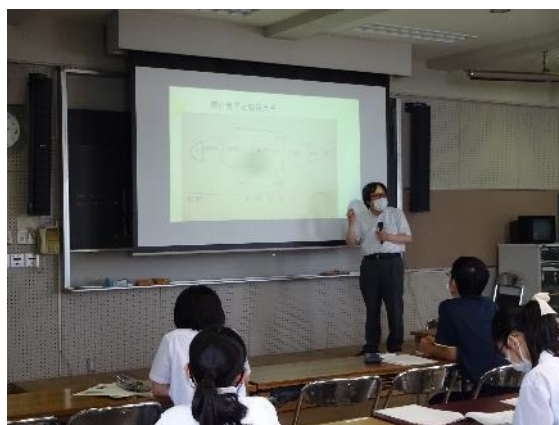
いずれの講義後にも、参加した生徒からは積極的な質問があり、吉田先生より丁寧な回答をしていただきました。



第1回「名古屋学入門」より



第2回「聖徳太子と聖徳太子信仰－最近の聖徳太子研究の進展をふまえて－」より
なお、二学期には吉田先生による連続歴史学ゼミ（全10回）の開催を予定しています。



7月14日（水）朝登校時に、本校生徒会執行部と名東警察署交通課との合同で、交通安全声かけ運動を行いました。昨今、自転車による交通事故や危険行為が問題となっています。本校では自転車で登校する生徒が多いため、5月に行われた交通安全講話に引き続き、名東警察署交通課のみなさんにお越しいただき、生徒会執行部と協力して自転車の交通ルールに関するパンフレットを配るなど、交通安全についての啓発活動を行いました。



7月10日（土）国際英語科の一日体験入学が行われました。名古屋市内外より中学生が来校し、

①「国際英語科」説明会、在校生発表（スピーチ・留学体験）

②「ワールドスタディーズ」授業体験

③「英会話授業」体験

の3つの活動を順番に体験しました。

当日は新型コロナウイルス感染症対策のため、中学生と直接関わることはできませんでしたが、数多くの在校生が事前準備に関わり、名東高校国際英語科の雰囲気が十分に伝わった一日体験入学となりました。

参加した中学生の声（一部）

- ・最初はネイティブの先生のことや言っていることが理解できるかな。私だけ英語できなかつたらどうしようなどと思っていましたが、とても楽しむことができました。
- ・英語を話せるように学ぶだけかと思ったら、世界中で活躍するための授業もあって良かったです。
- ・中学校とは違い、より自分の意見を「伝える」ということが大切だとわかりました。英語を話すということが目標ではなく、英語で役に立つ人になるという視点がとてもいいなと思いました。
- ・留学について気になっていたもので、それについて生で話を聞くことができ良かったです。
- ・モデルスピーチを聞いて、こんなにしゃべれるようになるのかとワクワクしました。



Z o o mによる生徒発表 その1



Z o o mによる生徒発表 その2



「ワールドスタディーズ」授業体験



「英会話」授業体験

2年国際英語科 「ワールド・スタディーズ」 授業報告

今年度、名東高校2年国際英語科の授業「ワールド・スタディーズ」において、名古屋市子ども青少年局が主催する「高校生社会参画アクションモデル事業」を実施することになりました。年間9回にわたり、外部からファシリテーターを招き、高校生が地域のまちづくりに対して意見を述べたり、提案したりできる機会を作ることが目的です。その過程で、自分が選んだ課題について深く調べ、その解決策を具体化するための行動計画を作成するなど、社会に主体的に関わる人材として成長することが期待されます。

7月9日（金）第3回 夏休みに生徒が実施するゼミ活動（実地研究）では、さまざまな校外の方にあらかじめ訪問の約束を取ってインタビューを行います。今回のワークショップでは、前半でインタビューの意義を確認し、クラスメートと与えられたテーマについてインタビューをおこないました。インタビューでは、「どういう状況だと話しやすいか」や「相手が話しやすい質問は何か」について実際に確認をしました。後半では、当日来校していただいたNPO団体の方や、名古屋市子ども青年局の方などにも入っていただき、実地研修の相談やインタビューの質問内容についてアドバイスを受けました。

夏休み中に行う実地研修（またはオンラインインタビュー）でのインタビューに活かせるスキルを身につけ、より有意義な探究活動ができることを期待します。



ワークショップ説明



ペアでインタビュー



NPO団体の方にも相談



全体の様子

7月2日（金）3年生を対象に「名古屋市立大学入試説明会」を行いました。期末考査終了後、国際教育センターに名市大を志望している3年生40名が参加し、名市大との人事交流で本校に来ていただいている名古屋市立大学特任教授の吉田一彦先生にお話をいただきました。吉田先生より、各学部の入試の仕組みなどについて説明していただき、生徒たちはメモをとりながら熱心に聞いていました。また、留学や就職状況などに関する生徒たちからの質問にも丁寧に回答していただきました。

終了後のアンケートには、

「入試や留学について細かいところまで情報が充実していた説明会でよかったです。最近、いろんな大学と迷っていましたが、名市大に行きたいと思いました」

「入試についてもたくさんの貴重な情報を得ることができたので、目標を定め、計画を立てて、これから夏休みに向けて頑張っていこうと思いました」

「入試のポイント等も知ることができて、より一層勉強を頑張ろうと思います！ありがとうございました」

など記され、名市大に行きたいという意欲が高まったようです。

また進路部では、2学期に1・2年生を対象とした企画も準備しているところです。



6月25日（金）国際英語科2年生を対象に、愛知淑徳大学よりダン・モルデン先生をお招きして、「魅力的な英語プレゼンテーションのために」という題の講演会を実施しました。

講演は2時間続きで行われ、プレゼンテーションを実施する上での基本的な考え方から、パワーポイントの作成のポイントという細やかな点まで丁寧に話していただきました。プレゼンテーションの実施については、常に聴衆を意識することや、話し手の姿勢や目線、声の強弱など、実際にモルデン先生がデモンストレーションをしながら教えていただき、とても理解が深まりました。特に、緊張してしまう場合の目線のコツなどは、今後のプレゼンテーションで非常に役立つと感じました。パワーポイントの作成については、適切な情報量やフォントのサイズ、色遣い、資料の配置などについて学びました。良い例と悪い例を比較しながら、具体的な見やすさ、わかりやすさを実感することができました。2学期以降の2年生のワールドスタディーズでは、ゼミ活動の発表を予定しています。今回の講演で学んだことを参考にして、「魅力的なプレゼンテーション」の準備につながることを期待しています。



6月22日(火)国際英語科1年生が、ワールドスタディーズの時間に貿易ゲームを実施しました。2時間連続の授業において前半でゲームを行い、後半はゲームの振り返りと考察をしました。貿易ゲームとは、各グループが国となって道具や材料・資金を元に製品を作り、売り上げを競うゲームです。ゲームのスタート時から道具や材料・資金や人数にばらつきがあるため、製品を作ることに夢中になっていたグループもあれば、道具が足りないためにほかのグループに交渉を持ちかけていたグループもありました。マーケットの望む品質を満たすことは厳しく、最初から不平等であることに不満を持った生徒もいましたが、振り返りと考察では世界の現状と比較してみると自分たちが先進国・新興国・発展途上国のどの立場になっていたのか、なぜ不満を持ったのかということまでそれぞれの立場から考察することができていました。また、発展途上国を支援する「フェアトレード」の仕組みに注目する生徒もいました。今後、1年生のワールドスタディーズでは自分たちで問題を見つけて発表する課題研究を予定しています。今回の貿易ゲームで気づいたこと、学んだことを参考にして、世界の諸問題を自分たちとつながる問題として捉えられるように期待しています。



6月18日(金)名東高校外国語研究部と、名古屋国際高校のSus-Teenが、学校間交流の一環としてZ o o m交流を行いました。Sus-Teenは、名古屋国際高校でE S D活動と国際理解教育を推進する部活動です。交流会では、最初にSus-Teenのメンバーから「S D G s ガチャ」、「地域との協働」、「企業との共同研究」などについて発表がありました。次に、名東高校外国語研究部から「英語を使っの活動」、「名古屋城ガイド」など活動内容について発表がありました。名東生はSus-Teenの生徒たちの、自主的に課題を見つけて積極的に行動する姿勢や、発表時の落ち着いた対応などに感心するとともに、Sus-Teenの活動をもっと知りたいと、最後は質問攻めになりました。本校の外国語研究部も、部長を中心にわかりやすく説明を行い、相手からの質問にも誠実に答えていました。名古屋国際高校の黒宮先生からは、今後の合同活動についての提案もあり、部員にとっては夢が膨らむ1時間でした。



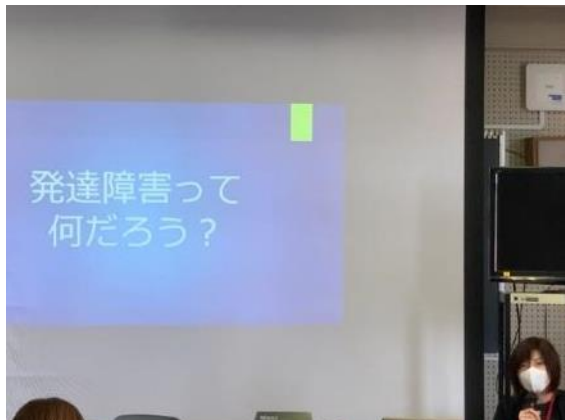
最初の挨拶



「S D G s ガチャ」に興味津々

6月18日（金）保護者を対象としたスクールカウンセラー講演会が行われました。本校スクールカウンセラーである臨床心理士・公認心理師の笹谷理恵先生に、『発達障害って何だろう?』というテーマで講演をしていただきました。

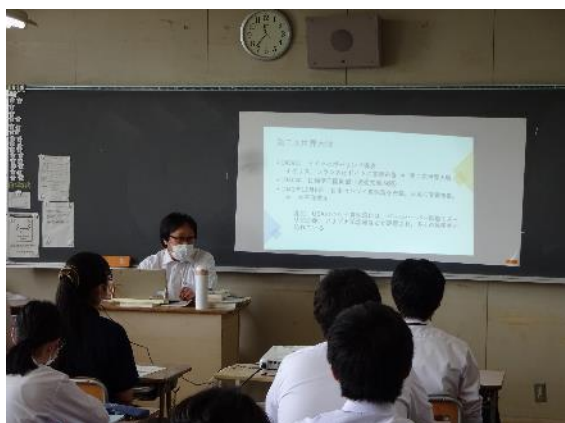
はじめに、発達障害の分類とそれぞれの特性や特徴について説明があり、環境整備や周囲の人々の理解が大切であるとのお話がありました。「こんなときどうする?」ではスマホ依存やケアレスミスに対し、具体的な対処法についてアドバイスがありました。参加者からは、「誰もあてはまるところがあると感じた」「具体的な例が参考になった」などの感想が聞かれました。



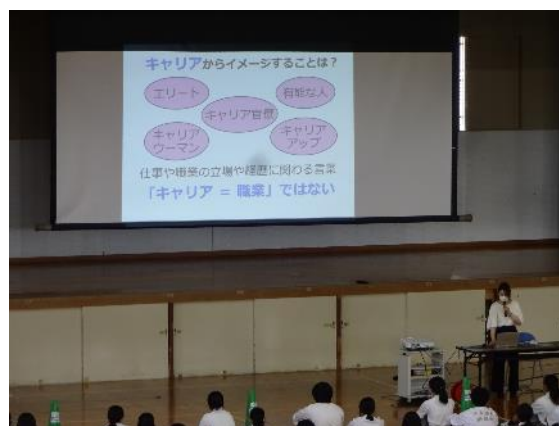
6月14日（月）普通科2年生を対象に、修学旅行の事前学習として名古屋市立大学特任教授の吉田一彦先生に、「広島歴史と文化」というテーマで講演をしていただきました。

吉田教授は、名古屋市の高大連携事業の一環として本校に来ていただいております。広島をめぐる戦争の歴史や厳島神社の歴史・文化財について専門的な見地からお話していただきました。

なお、吉田先生は1つのクラスでお話しし、他のクラスはZ o o mで講演を共有する形式で実施しています。



6月11日（金）1年生を対象に、キャリア講演会を行いました。株式会社フロムページ・高大接続支援部中日本課より藤富可織さんをお招きし、キャリアと大学の学びについてお話をいただきました。これからの進路選択を控える1年生に向けて、キャリアの形成や何を学ぶかなど、さまざまな観点より講演していただきました。



6月11日（金）国際英語科2年生を対象に、名古屋市の高大連携事業の一環として本校に来ていただいている名古屋市立大学特任教授の吉田一彦先生から「大学における学びと高校での学習」というテーマで講演をしていただきました。

まず、ご専門の「歴史と思想の研究」について、これまでの研究を通して培ってきた深い洞察を聴くことができました。次に「大学の学習や研究で必要になる力」についてのお話では、読解力、特に日本語と外国語の読解力が必要で、高校での学習が大学での基礎力となることが強調されました。最後に、海外の文化に関心が高い国際英語科の生徒に向けて、海外では自国の歴史・文化のプレゼンテーションが求められるので、住んでいる地域の歴史や文化について、深く学ぶことが大切であるとの助言をいただきました。

生徒たちは、吉田教授の聴き手を惹き込む話し方や講演内容に熱心にメモをとっていました。また、講演会後には質問が多数あり、高校の学習の大切さを見つめ直すきっかけになりました。

キーワード：「歴史と思想は文系の知の基本である」
「設定した研究テーマが魅力的か否か」
「固有より土着」（文化交流について）



なお、7月には吉田先生による歴史学夏季集中講義を予定しています。

6月7日（月）2年生を対象に、レポートの書き方講座が行われました。名古屋外国語大学現代国際学部国際教養学科より竹内慶至准教授をお招きし、レポートの書き方についてお話していただきました。修学旅行を控え、班別研修の調査研究と事前レポートの作成、さらに修学旅行後の1年生への発表会に向けて、さまざまな観点より講演していただきました。



5月31日（月）・6月1日（火）の日程でスポーツフェアが行われました。



例年この時期に開催されていた体育祭より競技種目・内容を変更し、感染症対策を行ったうえで実施しました。

実施種目は、

キックベース・ボッチャ・モルック・ドッチビー・バスケットボール（フリースロー）

がすべて男女混成で行われました。

2年国際英語科 「ワールド・スタディーズ」 授業報告

今年度、名東高校2年国際英語科の授業「ワールド・スタディーズ」において、名古屋市子ども青少年局が主催する「高校生社会参画アクションモデル事業」を実施することになりました。年間9回にわたり、外部からファシリテーターを招き、高校生が地域のまちづくりに対して意見を述べたり、提案したりできる機会を作ることが目的です。その過程で、自分が選んだ課題について深く調べ、その解決策を具体化するための行動計画を作成するなど、社会に主体的に関わる人材として成長することが期待されます。

6月4日(金) 第2回 ファシリテーターの土肥さんより、「ロジカルシンキング 根本的な原因を探ろう」というテーマで講義がありました。社会課題について、現状と理想のギャップを埋める活動が社会アクションであるとの話を聴き、生徒は問題の根本的な原因は何かを探る活動を行いました。その後、自分(グループ)が考えた現状や調べた事実について発表をしました。クラスメイトからの質問に答えることで、今後探究していくテーマについて、何を調べてははっきりとさせていく必要があるかが明確になりました。



ロジカルシンキング



発表活動と質疑応答

5月14日(金) 第1回 メインファシリテーターの土肥さんより、オリエンテーションが行われました。また、今年度の研究テーマについてグループ分けを行い、発表活動を通して、自分がテーマに関してどのような問題意識を持っているかを発表し合いました。



メインファシリテーター 土肥さん



発表活動

5月10日（月）2年生を対象に、名古屋大学宇宙地球環境研究所より年代測定研究部助教授の小田寛貴先生をお招きし、「大学進学のため、大学進学後のため、高校時代に何をすべきか」という内容で進路講演会を行いました。講演では、先生の高校時代や受験のお話から、先生が携わってこられた古文書の研究や放射線のお話まで、これから本格的に進路選択を行う2年生にとって、大変興味深いお話を聞くことができました。



5月6日（水）愛知県警第1交通機動隊・自転車対策小隊「B-Force」のみなさんに来校していただき、交通安全講話を実施しました。本校では自転車で通学する生徒も多く、自転車マナーや事故への対応などを、隊員の方による実演や生徒への質問などを通じてわかりやすくお話ししていただきました。また、1・2年生は新型コロナウイルス感染症への対策として、各教室でZ o o mを使用したリモート参加を実施しました。



4月26日(月)・27日(火)の2日間、国際英語科1年生40名が校内で英語語学研修を行いました。初日の午前中は、「英語セッション」が4時間あり、アメリカ・ロザンゼルス市からの専任講師(LANSCA)2名とALT2名の授業を受けました。午後からは、これまで授業で準備してきたグループ毎の発表を行いました。審査も行われ、後日結果が発表されます。2日目は、「クイズショー」や「アメイジングレース」などグループ対抗の活動を通して、友人と協力して英語学習を進めました。ネイティブの先生方によるセッションやアクティビティは全て英語で行われ、意思表示や意見交換を英語で行うため、最初は戸惑う生徒もいました。しかし、先生方の支援や友人との助け合いもあり、コミュニケーション力の向上と今後の英語学習への動機づけを得る貴重な機会となりました。



セッション



ガイダンス



クイズショー



終了式

4月22日(木) 2・3年生遠足が行われました。新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら、2年生は犬山・岐阜方面へ、3年生は知多・三重方面へと遠足を行いました。



国宝・犬山城



岐阜の城下町



かわら美術館



フォレストアドベンチャー



方円館



モートピア

4月22日(木)1年生を対象に、終日学年行事を行いました。まず、Meitoガイダンスを学年全体で行い「名東版ESD」(持続可能な開発のための教育)の理念を学んだのち、普通科は2つのグループに分けてESDワークショップと校内オリエンテーリングを行い、国際英語科は校内イングリッシュキャンプの準備を行いました。普通科のESDワークショップでは、外部より講師の方を招いて意見をまとめるワークショップを行い、校内オリエンテーリングでは、障がい者スポーツの1つであるボッチャや校内各所を使用したクイズラリーなどでクラスの絆を深めました。



Meitoガイダンス



意見をまとめるワークショップ



高校生活での「深い学び」につながります



クイズ形式での校内探検



こんなところにもなぞなぞが(校長室)



みんなでボッチャ!

4月13日(火)に「春の文化部発表会」が行われました。以下の部活動が参加し、新1年生に向けて発表や活動紹介を行いました。新1年生にとっては部活動を選択するための参考となり、2・3年生にとっては貴重な発表の場となりました。

《参加部活動》

映画研究・演劇・外国語研究・合唱・自然科学・ハンドメイド・コンピュータ・茶道
・吹奏楽・美術・放送・能楽研究・漫画研究・ダンス・軽音楽



4月5日（月）に入学式が行われ、第38回生320名が名東高校に入学しました。
国際社会で活躍できる人となるよう、充実した高校生活を送ってください。
また、このような状況にもかかわらず入学式を行うことができました。保護者の皆様のご理解とご協力に、厚く感謝申し上げます。

